

提言のポイント

1. 多自然型川づくりのレビューを実施

多自然型川づくりが始まって15年が経過した現在、多自然型川づくりの現状を検証し、今後の多自然型川づくりの方向性について検討を行うレビューを実施。

多自然型川づくりとは、河川が本来有している生物の良好な成育環境に配慮し、あわせて美しい自然景観を保全あるいは創出する事業の実施をいう。現在では多自然型川づくりはすべての川づくりにおいて実施。

2. レビューの結果

(1) これまでの多自然型川づくりの中には評価されるべきもの^{(*)1}がある。

*1：(例) 様々な工夫を重ねながら治水機能と環境機能を両立させた取り組み

(2) その一方で、河川環境の劣化が懸念されるような課題を残すもの^{(*)2}もあるなど、必ずしも十分な成果が上がっていない現状にある。

*2：(例) 場所ごとの自然環境の特性への考慮を欠いた改修や他の施工区間の工法をまねただけの画一的で安易な川づくり

(3) 法制度の整備、学際的な研究の進展、市民と行政の協働による川づくりの実践等、様々な環境整備がなされてきた。

3. 主な課題

現状を分析した結果、主な課題は以下のとおりである。

- ・ 多自然型川づくりとは何かということが共通認識となっていない
- ・ 支援する仕組みが不十分
- ・ 多自然型川づくりへの市民参加や関係者の連携が不十分
- ・ 河川工学、生態学などの知識を備えた人材の育成体制が未整備 等

4. これから目指すべき方向性

こうした現状を認識し、今一度これからの川づくりのあり方を再検討し、次世代に恵み豊かな河川を引き継ぐための取り組みを一層推進すべき。

「多自然型川づくり」の考え方は、すべての川づくりの基本であることから、モデル事業のような誤解を与える「型」から脱却し、普遍的な川づくりの姿として「多自然川づくり」へと展開。

課題の残る川づくりを解消するとともに、川づくり全体の水準を向上するため、以下の3つの方向性を目指すことを共通の認識として、実践することが必要。

- (1) 個別箇所の多自然から河川全体の自然の営みを視野に入れた多自然へ
- (2) 地域の暮らしや歴史・文化と結びついた川づくりへ
- (3) 河川管理全般を視野に入れた多自然川づくりへ（川づくりは工事が完了した時点で終わるのではなく、その後の出水や自然環境の変化等、常に川の状態を監視し順応的に管理していくことが重要。）

5. 推進のための施策

課題の残る川づくりを解消するために、現在までの知見や技術が現場において十分活用される施策を進めるべき。

(主な施策)

- 技術的支援の実施 . . . アドバイザーの現地への派遣
- 評価体制の構築 . . . 学識者等が川づくりを評価する仕組みを設立
- 市民参画の仕組みの構築 . . . 川づくりへの市民の参画の仕組みづくり
- 多自然川づくりの普及 . . . シンポジウム、ワークショップ等の開催
- 人材育成 . . . 河川技術者を対象とした研修の導入

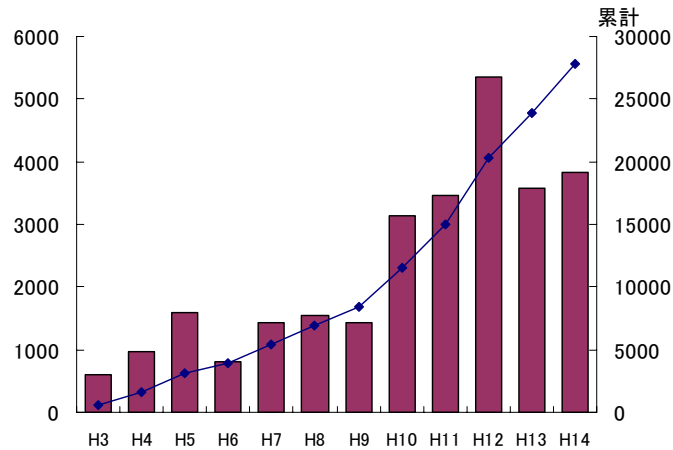
川づくり全体の水準を向上させるため、中長期的に解決すべき課題も含めて、技術的な検討や仕組みづくりに取り組む施策を展開すべき。

(主な施策)

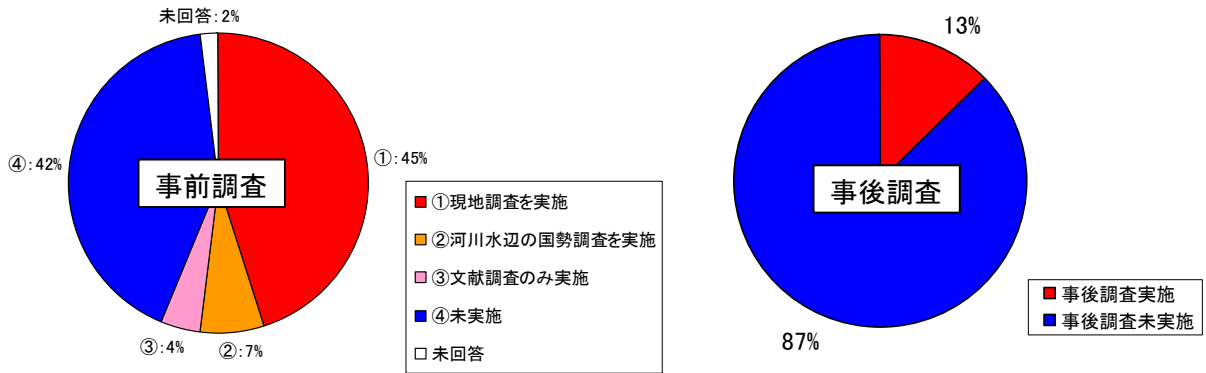
- 計画・設計技術の向上 . . . 水際の適切な河岸工法に関する技術開発
- 河川管理技術の向上 . . . 河道内樹木等の管理方法の体系化

多自然型川づくりの現状

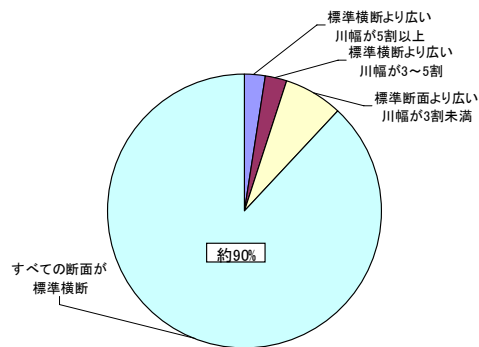
多自然型川づくりの実施件数(直轄+補助)



多自然型川づくりはパイロット事業から全ての事業で実施されるようになり、施工事例も増えてきた。



しかし、多自然型川づくりを実施する際には、事前調査に基づく目標設定や施工後の事後調査による順応的管理の実施が重要であるにもかかわらず、事前調査や事後調査は必ずしも十分に行われていない。



工事区間内、標準横断よりも広い川幅で施工している断面の割合

また、近年に実施した河川激甚災害対策特別緊急事業等の事例を見ると、「上下流一律の川幅で計画することはできるだけ避け、川幅を広く確保できるところは広く確保すること」という「多自然型川づくり」実施要領の留意事項が十分現場に浸透していない懸念がある。

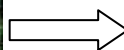
課題が残る川づくりの例



護岸の植生に配慮して環境保全型ブロックを用いているが、標準断面による画一的な工事が行われ、河床部や水際部には工夫が見られない



魚巣ブロックをとりつけたが、前面に州がついてしまって、魚巣ブロックの機能がなくなってしまった。



河川環境の評価が行われないままに地先ごとの工事を行っていることが多いため、河川の調査や工事、管理の目的や目標が明確になっていない